

議会だより

No.208

編集：議会広報特別委員会

令和3年 第1回臨時会（1月14日）

1月14日に開催され、議案1件が提出され原案のとおり決定した。

補正予算

○令和2年度幌加内町一般会計
補正予算(第9号)

◎母子里コミュニティセンターロビーの一部改修、カタクリ団地のダクト交換、幌加内高等学校温室の窓ガラス改修、幌加内町中央生活改善センターの煙突改修による増額により383万7000円を追加し、総額4億7554万4000円とした。



令和3年 第1回定例会（3月4日・9日・11日）

3月4日、9日、11日に開催され、議案20件、報告1件、意見書1件、承認1件、動議1件が提出され原案のとおり決定しました。

町長の行政報告がありました。
概要についてお知らせします。

町長行政報告

○「2月16日からの暴風雪警報の発令及び国道等の通行止め」について

今回の暴風雪については前日の15日午後に気象台より暴風雪に関する説明会が開催され、本町も防災係長を出席させ情報を得ている。その対応として、小学校、中学校、高校ともに臨時休校の措置を取り、合わせて保育園、学童保育の関係も休園等の要請をしている。

また、ほろみん号の計画運休や北部診療所の休診も前日のうちに判断し、IP放送などで住民への周知を行った。その後、16日朝4時10分に暴風雪警報が発令され、職員の配置とともに被害等の聞き取りなど情報収集と住民への注意喚起放送等を実施した。

同日午後3時にまず江丹別峠の道道旭川幌加内線が通行止めとなり、その30分後には道道和寒幌加内線が通行止めとなった。同日午後7時55分に暴風雪警報は解除となったが、午後9時52分に大雪警報が別途発令され、防災係で24時間対応可能な体制を維持したところである。17日朝4時21分に大雪警報は解除されたが、積雪のためジェイアールバス深名線の運休やごみ収集の中止などの対応をしている。午前10時に国道239号、温根別トヨタ自動車横駐車帯から霧立峠道道小平線との交点までと、国道275号、幌加内三津橋スタンド5差路から美深町交差点までが通行止めとなり、政和・添牛内・朱鞠内が一時的に陸の孤島状態となった。前日の吹雪等も激しかったた

め、大雪・積雪対策として12日にも実施していた市街地地域の煙突・排気筒などを職員により

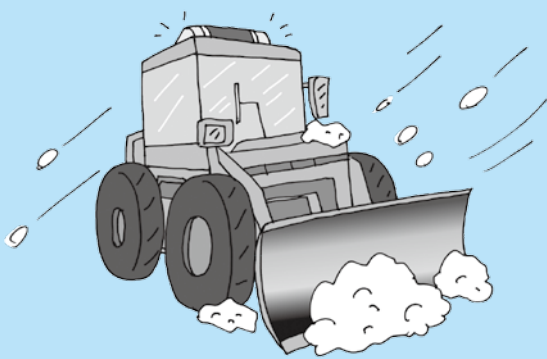
に面談を行ったことを申し添える。

再度調査するとともに、この日は朱鞠内小学校で臨時休校、幌加内小学校・幌加内中学校は午前の授業のみで生徒を帰宅させた。18日は朝8時30分に道道和寒幌加内線、同じく9時45分に道道旭川幌加内線が通行止め解除となり、午後1時に自治区担当職員による被害調査の実施を指示し、確認作業を行っている。

また、一昨日2日から3日にかけても雪崩による通行止めが国道、道々にて発生した。これが気候変動によるものなのか分からないが、今後も同様のケースが予想され、住民生活に大きな支障が出ないよう各関係機関とも連絡を密にし対処していきたい。

除雪済み区間から随時解除、17時10分に239号が一部解除、最終的に19時45分に239号、20時31分に275号が全面開通となった。幸いにして本町では今回の警報下で人身被害等は発生せず、また、この間、救急搬送出勤もなく安堵したところである。

道路通行止めについては、道路管理者である北海道開発局旭川開発建設部及び、上川総合振興局旭川建設管理部も早期解除に向けてご尽力を賜ったが、学校や診療・郵便配送など住民へのご不便をかけたことも踏まえ、支援のお礼と、今後の対策等について19日及び22日の両日



専決処分

○令和2年度幌加内町一般会計補正予算(第10号)

◎新型コロナウイルス感染症対応ワクチン接種事業の実施及び高校の魅力化支援事業の留学生受け入れに関わる経費として287万1000円を補正。

質疑

中川議員

Q 今回の予算措置は600名程度との説明なので、残りの600人から7000人の対策については、また補正で対応するとの理解で良いのか。

答弁

保健福祉課長

A 今回の専決については、65歳以上の高齢者の分である。残りの16歳から64歳までの住民については、新年度予算にて対応している。

補正予算

○令和2年度幌加内町一般会計補正予算(第11号)

◎夢・人・郷づくり事業補助金、ふるさと納税謝品、路線バス回数券、新型コロナウイルス感染症経済対策補助金、朱鞠内小学校給水設備改修工事、不良空き建築物等撤去促進事業補助金、最終処分場埋立地造成工事、最終処分場浸出水処理施設建築工事、農業振興奨励補助金、道営幌加内中部地区経営体育成基盤整備事業負担金、道営幌加内東部地区経営体育成基盤整備事業負担金、道営幌加内北部地区担い手育成型基盤整備事業負担金、橋梁補修工事、朱鞠内小学校給水設備改修工事、朱鞠内コミセン等耐震改修工事実施設計業務委託料等の増減により、1億9837万4000円を減額し、総額46億8004万1000円とした。

000円とした。

○令和2年度幌加内町介護保険特別会計補正予算(第4号)

◎介護保険システム改良業務委託料、居宅サービス給付費、特定入所者サービス費等の増減により858万4000円を減額し、総額1億8450万5000円とした。

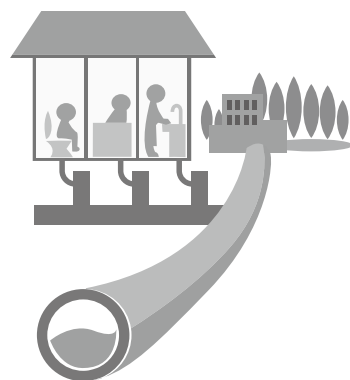
○令和2年度幌加内町簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)

◎特別修繕料121万円を増額し、総額7304万1000円とした。

○令和2年度幌加内町下水道事業特別会計補正予算(第4号)

◎特別修繕料112万2000円を減額し、総額8192万9000円とした。

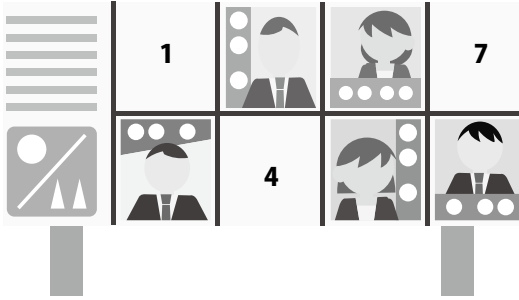
○令和2年度幌加内町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)
◎一般被保険者療養給付費、一般被保険者高額療養費等の増減により4012万8000円を減額し、総額1億7600万3



条例制定

○幌加内町議会議員及び幌加内町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

○町村選挙における立候補者負担の軽減及び、議員等のなり手不足の解消を目的とすることから、町議会議員選挙及び町長選挙において条例を定めることにより、「選挙運動用自動車の使用」「選挙運動用ポスターの作成」「選挙運動用ビラの作成」に要する経費について上限を定め、公費で負担することが可能になり町村の選挙における立候補に係る環境改善のため新たに条例を制定



条例改正

○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

○給与に関する条例の規定により職員に居住手当を支給しており、持ち家手当については、町内に限定をして支給する事としていることから、居住手当についても「町内に居住する職員に限る」とするため条例の一部を改正。

○幌加内町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

○新型コロナウイルス感染症対策に従事した職員に対し防疫等作業手当の特例対応として、手当を支給するため必要な事項を追加するもの。新型コロナウイルス感染症の患者又はその疑いがある患者に接して行う事業、PCR検査業務等3000円、新型コロナウイルス感染症の病原体に汚染され、又はその疑いがある場所・物件の消毒その他の処理業務、新型コロナウイルス発生時消毒業務等1000円として条例の一部を改正。

○新型コロナウイルス感染症の感染の拡大を防止するための幌加内町国民健康保険に係る保険給付の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例

○新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に対する国民健康保険税の減免の特例に関する条例の一部を改正する条例

○新型コロナウイルス感染症等対策措置法の一部を改正する法律が令和3年2月3日に交付され施行したことにより、新型コロナウイルスの定義について改正が行われたことにより本条例の定義、規定を整備するため条例の一部の改正。



質疑 中川議員

新型コロナウイルスの定義について、中国から発生をしたものとなっているが、最近ではイギリス株やブラジル株などの、変異型の感染も国内で広がっているが、これも対象となる考えで良いのか。

答弁 住民課長

A 2月に法改正となったものであり、変異ウイルスに関しては現在、これ以上の情報が入っていないため現段階で対象となるのかは回答できないが、現実にはこの様な申請、状態等々発生をした場合には確認をしながら減免や審査等を行っていきたいと考えている。

○幌加内町介護保険条例の一部を改正する条例

○第8期幌加内町高齢者福祉介護保険事業計画の策定により、保険料、基準月額の変更に伴い保険料を改正するもの。

また、新型コロナウイルス等対策特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴い新型コロナウイルスの感染症の定義について改正が行われたことにより本条例の定義、規定を整備するため条例の一部の改正。



条例廃止

○国営南幌加内地区総合農地開発事業負担金等徴収条例を廃止する条例

○本事業において、令和2年9月30日に負担金が全額納付されたことにより本条例の適用対象がなくなったため条例を廃止。

変更認定

○町道の路線変更認定

◎路線名→東1線

起点→字雨煙内1446

・19地先(町道北五

号線交点)

終点→字新成生52地先(町

道新成生南三号線

交点)

延長→663・64メートル

◎路線名→平和零号線

起点→字新成生1023

・10地先(町道東三

号線交点)

終点→字平和4621・

27地先(雨竜川左

岸)

延長→612・3メートル

意見書

○米の需給改善と米価下落の歯止め策を求める意見書を承認した。

発議

出 ○閉会中の所管事務調査の申し出

議会運営委員会及び総務厚生常任委員会、産建文教常任委員会からの申し出を協議の結果、許可した。

予算審査

特別委員会の設置

委員会の質疑・応答は広報ほろかない7月号で掲載します。

★ 議会を傍聴してみませんか ★

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回開催されます。傍聴の手続きは簡単、受付簿に「住所」「氏名」を書いていただければ結構です。

予算審査特別委員会、決算審査特別委員会は年1回開催されます。

※新型コロナウイルスの感染予防としてマスクの着用をお願いします。

議会の開催時期

- ・第1回定例会 3月中旬
- ・予算審査特別委員会 3月中旬
- ・第2回定例会 6月中旬～下旬
- ・第3回定例会 9月中旬
- ・決算審査特別委員会 10月中旬～下旬
- ・第4回定例会 12月中旬～下旬

議会事務局／公民館3階 ☎ 0165-35-2121 (内線373)

一般質問



中川議員

Q

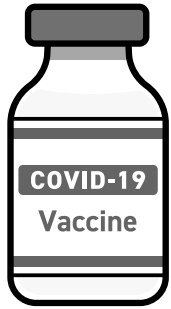
新型コロナウイルス対策としてのワクチン接種について

A ワクチン接種は現在未定であるが、接種会場は幌加内診療所とし集団接種の方法で予定している

Q

新型コロナウイルス対策としてワクチンの接種が2月17日から医療従事者を中心に国内でも始まり、4月12以降には65歳以上の高齢者から順次ワクチンの接種が始まるとされている。

1点目、この3月にも、医療従事者や救急隊員らへの接種が始まるとの事である。新聞報道



でも道内の高齢者向けワクチンの供給については、4月中には22箱程度との報道もされているがワクチンの具体的な供給スケジュールは、現段階でどの程度明らかになっているのか。

2点目、医療従事者以外の接種については各市町村が実施主体となりワクチン接種を行う事となっている。本町は接種率の目標をどの程度で設定し、どのような体制でワクチン接種を行うおうとしているのか。また基本的には、診療所のスタッフが担当すると思うが、一般診療との兼ね合いや接種の会場、あるいは医師や看護師、事務職などの確保の目処はたっているのか。

3点目、今回のワクチンは、重症化を防ぐ効果、発症をおさえる効果は確認されているが、感染そのものを防ぐ効果や人に感染させない効果は確認されていない。しかも、ワクチンの必要量を円滑に確保できるかは今のところ見通せず、接種日程は極めて流動的で国民全体に行き渡るのは、まだまだ先と思われる。

コロナ対策として「ワクチンだのみ」にならず、ワクチン接種を進めるとともに、PCR検査の拡充など感染対策を同時並行で行う事が大切ではないかと思うがどのように考えているのか。

1点目、ワクチンの供給スケジュールについて、医療従事者等への接種に関しては、道が実施することとなっていることから所管の上川保健所に確認している。本町の医療従事者への接種に用いるワクチンの供給は、現在のところ未定である。上川管内で初めて旭川赤十字病院で接種が始まったのを



町長

A

スケジュールについて、

医療従事者等への接種に関しては、道が実施することとなっていることから所管の上川保健所に確認している。本町の医療従事者への接種に用いるワクチンの供給は、現在のところ未定である。上川管内で初めて旭川赤十字病院で接種が始まったのを

5日の新聞報道で知するような状況である。国会における予算委員会での担当大臣の答弁や報道を見ると、医療従事者のみならず、ワクチンの総量、確保量からも、高齢者への接種も含め、全体的に後ろにずれ込むものと推測をしている。

2点目、本町のワクチン接種体制について、本町は新型コロナウイルス対策として昨年2月に設置した「幌加内町新型コロナウイルスエンザ等対策本部」業務の一環として接種事業に取り組むこととし協議をしている。医師をはじめ、看護師等のご理解を頂きながら、現在、接種会場は、幌加内診療所とし、水曜日、木曜日の午後から一般診療を休止して実施することとしており集団接種になると思われる。接種会場までの足の確保対策として、希望者には接種会場までの無料送迎を予定している。また、接種会場へ出向くのが困難な介護施設等へ入所している方には、訪問による接種を予定しているところである。接種の人員体制については、医師2名、看護師4名、保健師2名、事務職3名、その他、送迎体制などを今のところ確保して

おり、1日の接種人数を最大70名。接種率は高齢者だと全体の7割程度と見込んでいる。その推計でいくと65歳以上で約2か月間、65歳未満で約2か月間の計4か月間で接種を完了する計画である。

3点目のPCR検査の拡充について、発症当初から検査の充実が安全、安心につながるのではないかとこの事で、いろいろな機関に相談してきた。昨年12月、議会定例会で中川議員の一般質問の後、町内の介護福祉施設など関係事業所と意見交換をしたところ、PCR検査の実施については、1回だけではなく定期あるいは継続的に検査を実施しなければ感染防止の意味がないとの意見が多数であった。

この為、現在診療所で行っている行政検査以外のPCR検査については、現在のところ、実施することは考えていないが、民間の安価な検査キットが普及する中、精度も含め有効な感染対策として活用できるのであれば、再度、関係者の皆さんから意見をいただきながら検討していきたい。

今後とも、町民の皆さんには、「新北海道スタイル」のもの

と、引き続き、マスク着用、手洗いの励行、健康管理など、感染防止対策の徹底に努めていた
きたい。



Q

2点目のワクチン接種体制について、週2回、集団で行うとの答弁であったが、ワクチンについては、超低温で保存をする。解凍後は5日程度でその効力を失う、2週間程度という話もあるが基本的には5日ぐらいで駄目になるような状態になるとの事である。担当者

に確認したところ、幌加内町に入ってくるワクチンのロットが1箱単位で来るのではないかとのことであった。

答弁では週2回で60名か70名程度との事だったので、その空いた期間をどうしていくのかも問題になってくると思われる。冷凍庫も各自自治体に最低でも一

つは設置となる話だが、その辺の情報は確かな事なのか。また、ロットが1箱ずつ来るのであれば本町の高齢者のみだと、

だいたい65歳以上で600名程度で、仮に7割だとすると420名程度になると思うが、1箱単位とすると高齢者はそれだけで2回接種したとしても800数十回分で終わってしまう。一般向けのものはまだ後になると思うが、余ってしまう場合も考えられ、国会でも河野担当大臣などは、その辺は自由に活用をして良いとの答弁もある。1回目

目に1箱で来るなら高齢者が終わった後、どの様な活用を考えているのか。

3点目、一般的に言われるPCR検査自体は12月議会と同じ答弁だが、この間、札幌市でも定期的に8月まで月1回の定期検査を行うような報道もある。予算措置をみると、おそらく民間の検査キットを利用しているのかと思われる。その辺も参考にしながら、これからワクチン接種も始まるので、医療機関に対してこれ以上負担をかけるのはやはり大変かと思うが、PCR検査とそれに類似した検査を行える余地は残されていると思う

ことから、是非実施に向けて検討してほしい。

答弁 町長

A 2点目のワクチン接種等

について、情報が入ってこないところであるが、冷凍庫については3月17日にディープフリーザー、いわゆるマイナス70度まで可能な冷凍庫が幌加内に到着をする。ワクチンはいつ来るのかがわからないが、1箱195本入りで975回分の接種が可能。ワクチンはクーポン券を郵送して予約制で割り当てていくようなイメージをしている。なかなか予約が入らないと思われるので、逆に町から高齢者の皆さんに連絡をしながら予定表を作っていく作業になる

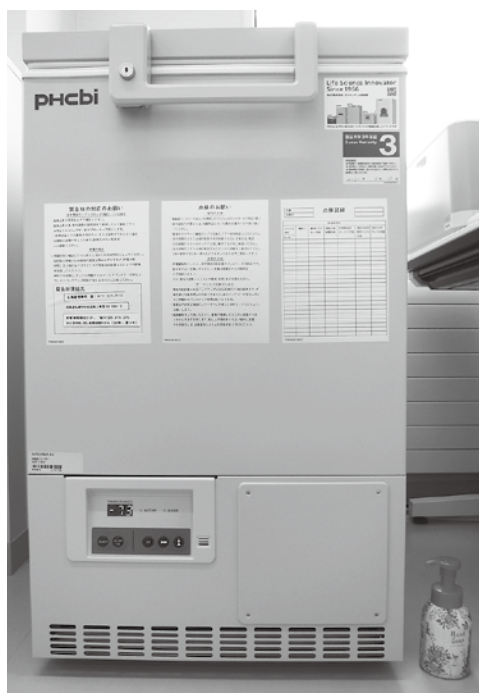
と思っている。ワクチンが余る可能性もあることから、例えば感染リスクの高い一般の方を優先的に前倒して接種してもらうなど考えていかなければならない

と思っている。しかし、情報がなかなか入ってこないため、この辺はまた具体的に決定をしたらお知らせする。

3点目、PCR検査については、民間の簡易キットが随分普及しているようである。新聞報

道によると、栃木県が市中のPCR検査を行う、また報道では根室市が市に帰ってくる帰省者に対してPCR検査を実施したいとの内容もあった。

質問にあった、札幌市は繁華街等含めてPCR検査を行うが、市中感染者、いわゆる予兆検知、そういった調査的なPCR検査の意味合いが強いのではないかと思うので、これは本町には当てはまらないと思われる。根室市のような帰省者とか12月でも答弁をしたが、本町の高校生、これは町外から来るので、そういった方が幌加内に入ってきた時に検査ができないのかなど、今後検討をしていきたい。



ディープフリーザー
(ワクチン用冷凍庫)

一般質問



藤井議員

Q 第三次コロナ交付金の使い方について

A 感染対策をはじめ、経済対策、アフターコロナ対策に重点を置く考えである

Q 交付が予定されている第三次コロナ交付金が約4600万円ほどと聞いている。今後コロナの影響が長引くことが予想される中、第三次交付金の使い道について伺いたい。

答弁 町長

A コロナ対応臨時交付金については、第一次、二次配分及び令和2年度一般会計補正予算で可決した三次配分の補

助裏分の1208万4000円を合わせた、1億3965万円を予算計上し、現在、実施しているところである。

第三次配分は2月2日に内閣府より4685万4000円の交付限度額の通知があり、年度内執行の場合は、2月5日までに実施計画書を作成し北海道經由で総務大臣へ提出しなければならぬ。実施計画書の提出及び事業の執行完了が年度内は極めて難しいと判断し、令和3年度へ全額、繰越をして、新年度事業で執行する手続きを取ったところである。2月9日に庁内の対策本部会議を開催し、コロナワクチン接種事業体制や第三次配分の臨時交付金について協議を行っており、臨時交付金については、既に要望書等が出されている団体のほか、各関係団体へ、コロナによる影響や対応状況を確認のうえ、臨時交付金の使途を各部署で検討し、限られた財源で効果的な事業の執行ができるよう指示をした。現在、具体的な案は示せないが、早ければ3月下旬に、ある程度出そう予定である。

答弁 町長

A 消防に関する機材、装備等の部分も含めて、準備を進めている。

Q

消防に関して他の町村で救急の備品等を結構買っていると聞いているが、考慮にいられないか。



ターコロナ対策に重点を置く考えであるが、一部準備を進めている分も含め、臨時交付金の対象として認められるものがあれば俎上に挙げ、国や北海道に照会をしながら検討し、迅速な対応が必要な場合は臨時会あるいは、専決補正にて対応していきたい。

議会の様子をホームページで見ることができます！

議員の活動や広報など掲載しています。

議会ページは町ホームページから見るができます。

わたしの一言

吉成 千絵美さん



私が結婚を機に幌加内に住むようになったのが、今から3年半ほど前。最初の冬に3mを超える積雪を経験し、毎日降り続ける雪に圧倒されたのを鮮明に覚えています。

そんなあつという間に過ぎていった中で、長男の出産をきっかけにベビーマッサージの講師とフォトグラファターの勉強をして資格を取り、お仕事をしております。親子の絆を深められるベビーマッサージと大切な思い出を形に残せる写真、どちらも我が子のために

始めたもの。この魅力をたくさんの方に知っていただきたいとお仕事として始めました。

私が嫁いだ吉成家は廃校になった政和小学校で「政和アートフェス」を夏に開催しています。毎年たくさんさんのアートの囲まれる刺激たっぷりの空間は日常では味わえない特別な空間で感性を豊かにしてくれます。10周年を迎える政和アートフェス、保育園や小学校などでも見学に来てくれたりと町に欠かせない存在になっているのではないのでしょうか。身近に「町の

ために」と頑張る家族がいるので私も何かしら幌加内に貢献できればなという気持ちが強いです。ベビーマッサージを通して子育て中のママのお役に立ちたい。フォトグラファーとしてお子様やご家族の笑顔をお写真に残していくことはもちろん、風景など幌加内の魅力も発信していけたらなと思っています。とはいえ、まだまだ幌加内歴の浅い私です。「こんなところが魅力だよ」というものがあれば、ぜひ私を見かけた時は教えてくださいね。



吉成 千絵美さんと慶悟くん

議会日誌 12～3月

12月

25日 第2回士別地方消防事務組合議会定例会（士別市）

1月

8日 朱鞠内湖安全祈願祭（朱鞠内）
10日 成人式（幌加内）
14日 議員協議会（幌加内）
第1回臨時会（幌加内）
功労章表彰式（幌加内）
20日 上川町村議会議長会役員会（旭川市）

2月

1日 議会広報特別委員会（幌加内）
2日 上川教育研修センター組合議会定例会（旭川市）
9日 上川町村議会議長会定期総会（旭川市）
25日 議会運営委員会（幌加内）
産建文教常任委員会（幌加内）

3月

3日 議会運営委員会（幌加内）
4日 第1回定例会（幌加内）
9日 第1回定例会（幌加内）
予算審査特別委員会（幌加内）
10日 予算審査特別委員会（幌加内）
11日 予算審査特別委員会（幌加内）
第1回定例会